



WLAN 連携マニュアル
(Ver. 1.28.1 版)

目次

- 1. 必要なソフトウェア 1
- 2. ハードウェア 1
- 3. WLAN 連携でできること 1
- 4. WLAN 転送のための設定 2
 - 4-1.easy-EX WLAN 連携の設定 2
 - 4-2.データ送信方法 5
 - 4-3.WLAN 電波状況アイコン 5
- 5. 注意事項 6

本マニュアルでは、easy-EX を用いて WLAN 転送を行うための手順を説明します。

1. 必要なソフトウェア

- easy-EX 日本語版 Ver. 1.28.1以降
- easy-EX WLAN連携 日本語版 Ver. 1.28.1以降

2. ハードウェア

- CASIO ハンディターミナル DT-X7/DT-5300 (CE)/DT-5300 (WM)/DT-X8 日本語モデル

3. WLAN 連携でできること

- データ送信をWLAN経由で行うことができます。
- アプリ受信、照会ファイル受信、PCと時刻合わせをWLAN経由で行うことができます。
- 通信方式は、USBクレードル通信と、WLAN通信の切り替えが可能です。

4. WLAN 転送のための設定

あらかじめ PC に easy-EX がインストールされているものとして説明します。

※旧バージョンの easy-EX がインストールされている場合は、一度アンインストールを行い、再度 Ver. 1.28.1 以降の easy-EX をインストールしておいてください。

4-1.easy-EX WLAN 連携の設定

(1) WLAN 連携をインストールする

easy-EX の CD をエクスプローラで開いてください。

その中に WLAN というフォルダがあります。

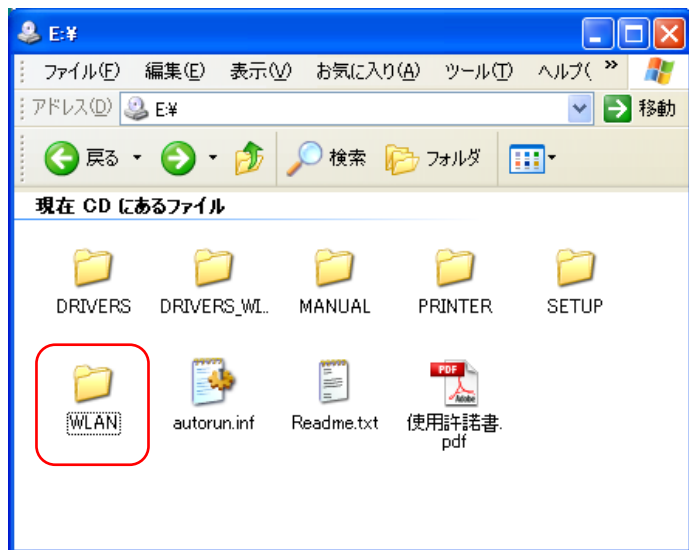


図 1

そのフォルダ内に、ja_easy_EX_WLAN.msi というインストーラ用ファイルがあるので、それをダブルクリックし、ガイダンスに従ってインストールして下さい。



図 2

以上でインストールは完了です。

(2) 端末初回セットアップを実行する

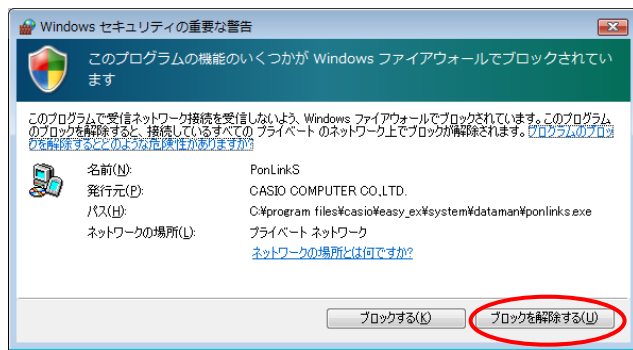
端末初回セットアップを実行し、端末に easy-EX をセットアップしてください。

※端末初回セットアップは、WLAN 経由で行うことはできません。USB クレードル経由で行ってください。

(3) ファイアーウォールのブロックを解除する

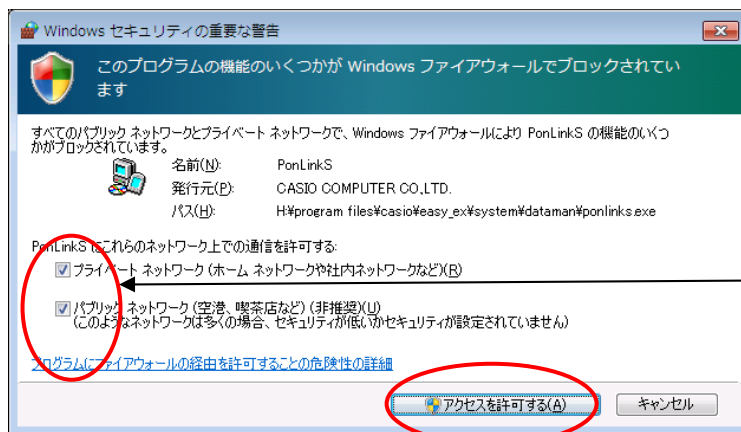
WLAN連携をインストール後、データナビゲータを実行してください。

初回のみファイアーウォールの設定を確認されます。ネットワークのセキュリティを十分に確保した上で、ブロックを解除してください。



WindowsVISTA

図 3



Windows7/8.1

図 4

お使いのネットワーク構成により
いずれかがチェックされています。
そのまま「アクセスを許可する」を選
択してください。

(4) 端末で WLAN の設定を行う

端末側で easy-EX を終了してください。

easy-EX 終了方法 : 「メインメニュー」→「設定」→「5.環境構築」→「5.終了」

無線 LAN の設定を行い、無線 LAN の接続状態にしてください。

(5) アプリ生成を行い、アプリ受信を行う

PC 側でアプリ生成を実行し、初めの 1 回は USB クレードル経由でアプリ受信を行ってください。

(6) 端末で通信方式を設定する

「メインメニュー」→「設定」→「3.PC 接続設定」→「1.通信方式設定」を選択します。
通信方式を「1:WLAN」に設定し、接続先のサーバの IP アドレスを設定してください。

※「0:USB」を選択すると、通常通り USB クレードルでの通信となります。

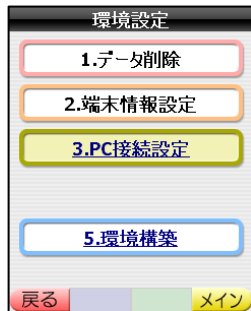


図 5

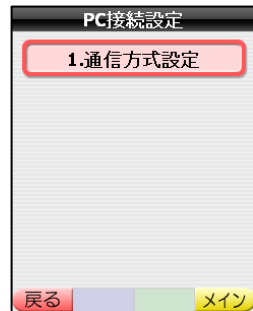


図 6



図 7

※接続先の IP アドレスの調べ方

PC 側にて、「スタートメニュー」→「ファイル名を指定して実行」で「cmd」と入力し OK を押します。

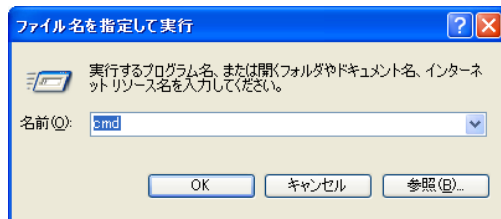


図 8

「ipconfig」と入力し、リターンすると、IP アドレスが表示されます。

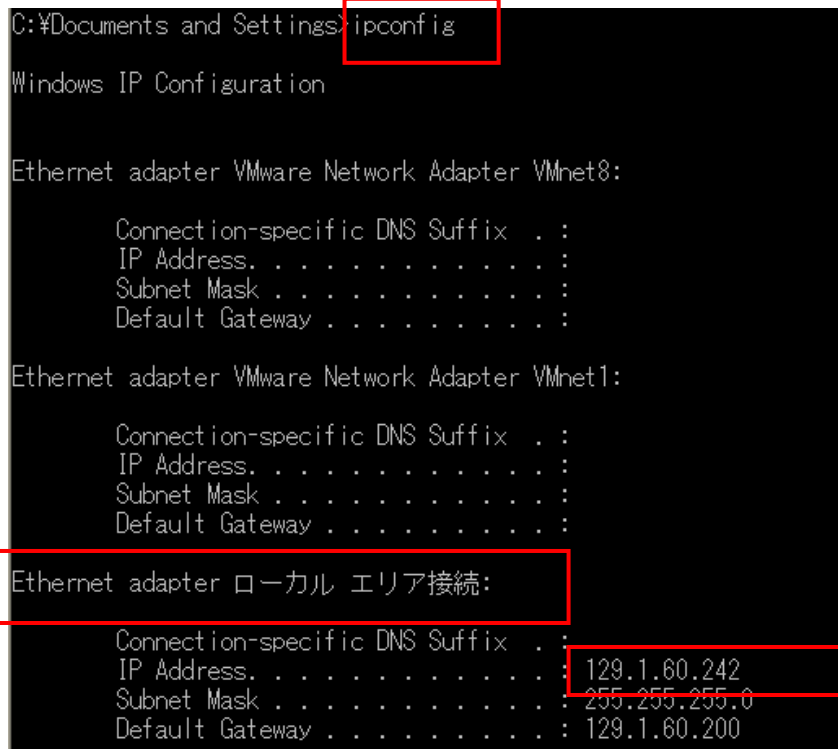


図 9

4-2.データ送信方法

通信方式を WLAN に設定した場合、メニュー画面で「0 キー」を押下することでデータを送信することができます。

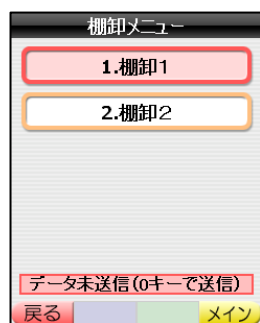


図 10

4-3.WLAN 電波状況アイコン

通信方式を、WLAN に設定した場合、画面上部左側に、WLAN 電波状態を表すアイコンが表示されます。

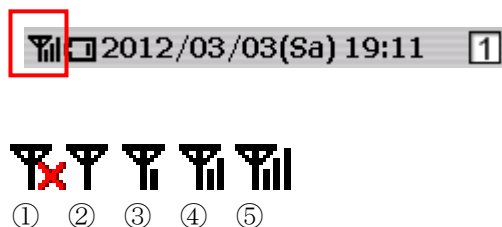


図 11

WLAN 電波状況は 5 段階で表示されます。

※WLAN 電波強度が十分確保できる場所（③以上）で、ご使用してください。

5. 注意事項

1. 端末初回セットアップは、WLAN経由で実行できません。USBクレードル経由で実行してください。
2. データ転送先のPCのIPアドレスは固定アドレスとしてください。
3. LMWINと同一ポート番号を利用しているため、LMWINと同時通信はできません。（利用する場合はどちらかのポート番号を変更する必要があります）
4. WLAN送信は、無線LANモデルのみ有効です。easy-EX簡単運用パックに同梱されている端末は、無線LAN非搭載モデルですので、WLANでの通信ができませんのでご注意ください。
5. 登録するExcelに大量のデータが存在する場合、Excelのブックを開くのに時間がかかり、データの送信時にタイムアウトが発生する場合があります。PCの性能にもよりますが、1ブック10万件を目安にお使いください。
6. 複数の端末で同時にデータ送信を行った場合、初めに送信した端末の全データが登録後、次の端末のデータ登録が開始されます。
7. 貸出・返却型アプリは、複数台で貸出や返却を管理することはできません。
（複数の端末を順番にクレードルに接続し、データ送信した場合と同じ動作となります）
8. 無線によるネットワークを利用する場合には、ネットワークのセキュリティを十分に確保した上でご利用ください。

最終ページ

easy-EX
WLAN 連携マニュアル
Ver.1.28.1 版

平成 2 6 年 1 2 月 第 2 版